

ワークキャンプに参加して

3年 星 康之



ワークキャンプ 県社会福祉協議会が主催する社会福祉施設での体験学習。施設での合宿を通じてボランティアグループのリーダーを養成する。今年度は水原町にある特別養護老人ホーム白鳥荘で実施。

懸命に生きる姿に感動

僕は夏休みに水原町の白鳥荘で行われた二泊三日のワークキャンプに参加しました。ここで、人間が人間として生きていくためには何が必要か、今、何を始めなければならぬのかをみんなで考え、活動することです。また、私たち自身が、自分たちの地域をより良くするために貢献できる、一つの場になることを目標としています。

僕はこれらの狙いを見て不安になりました。それに本当は、ここに来る前も不安でした。なぜかという、このようなボランティア活動は、初めてだったからです。三日間、白鳥荘でいろいろな活動をし、見てきましたが、その中でも僕が一番印象に残ったことを、二つ書きます。

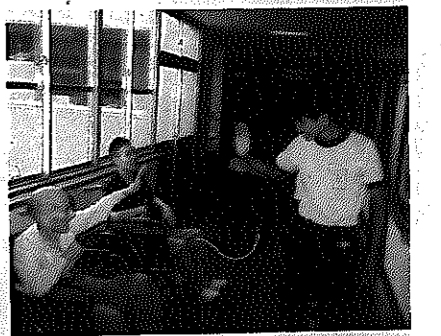
一つ目は、お年寄りと一緒にやってやった体操です。僕の前のお年寄りは、一生懸命僕のまねをしてくれて、とてもうれしくなりました。この白鳥荘のお年寄りは、ボケていたり、体の不自由な人が多いのです。それでも皆さんの、やろうとする気持ちや伝わってきました。

二つ目はお年寄りのお話です。最初はどんな話を話したらいのか分からず、本当に緊張しました。しかし、何でもい

いから話し掛けてみようと思ひ、昔のことを聞いたりしました。すると、あるおじいさんがここにこ笑いながら、いろいろなことを話してくれて、本当にうれしかったです。昼になり、僕は昼食を食べさせることになりました。何から食べさせていいのか分からず、ご飯を食べさせようとしたのですが、おじいさんはおかずの方を指しました。僕は「アツ」と思いました。僕は自分のことのように食べさせていたのです。おじいさんの気持ちや分らない「すみません」という気持ちになりました。

三つ目は、ワークキャンプ最後の日に、白鳥荘に入っているお年寄りの一部の人たちが、演奏してくれたことです。オルガンやピアノを弾いておばあさんは、右利きだったそうですが、左手でオルガンを弾いていました。僕は本当に、生きていく自信ができました。周りのお年寄りもすごく一生懸命で、感動しました。

僕はたくさんのお年寄りと接しているうちに、不安や緊張でいっぱいだったのが、楽しい気持ちになりました。僕がワークキャンプに参加して一番強く感じたことは「今、一生懸命生き



ているんだ」ということでした。僕はワークキャンプで学んだことを、日常生活で生かさないといけないですね。中でも、あいさつがとて良くなったと思います。通学するとき、近所の人に元気良くだれにでもあいさつができるようになりたいです。しかし、まだまだ今後の生活の中に取り入れていかなければならぬ。例えばお年寄りがいたら、一から十までやってやるのではなく、できないところだけを手伝ってやることです。これは白鳥荘の園長さんに、一番最初に言われたことです。

最後にこの体験を通じて、一生懸命に生きることの大切さやしみじみと分かりました。それに、友達やいろいろな人と付き合っていく上で、その人の気持ちを第一に考えなければならぬということ、一番教えられたような気がします。

思いやりのあるボランティアを

3年 小 林 麻衣子



ボランティア委員会 新飯田中学校では指定二年目をボランティアクラブとして対応。二年目に生徒会の特設委員会としてボランティア委員会を設置。今年度から常設委員会として設置している。

同情ではない心からの思いやり

新飯田中学校が社会福祉普及校に指定されて、今年で三年目になりました。私は今ボランティア委員会の委員長をしながら、全校生徒とさまざまなボランティア活動を行っています。

私が初めてボランティア活動を体験したのは、中一のときでした。普及校一年目でボランティアクラブがあり、何でもいいからボランティアをやってみようと思った私はクラブに入りま

した。そしてその年の夏「ワークキャンプ」に参加しました。ですが、一年生だった私は、ただおどおどして、自分の中では違和感以外、何の心もなかつたような気がします。それは、本当のボランティアを知らなかつたから、違和感しかわいてこなかつたのだと思います。私は今でも、そのころの自分自身が恥ずかしくてたまりません。

では「本当のボランティア」とはどんなことなのでしょう。困っている人を助けてあげること？ 体の不自由な人たちの手助けをすること？ これらは決してボランティアではありません。ただのいたわり、同情としかいえないと思います。

こんなふうに考えたときに、施設訪問の話がきました。市内

にある老人福祉センターへの訪問です。私たちボランティア委員会は、全校生徒に希望を取って、参加者を集めることにしました。しかし、いくら指定三年目とはいえ、今年入学した一年生や、ボランティア未経験の生徒はたくさんいます。正直言って、参加者が集まってくれるかどうか心配でした。しかし予想をはるかに超えて、たくさん参加者が集まってくれました。

そのとき私は、みんな「自発性」が豊かな人たちばかりだと思えて、とてもうれしくなりました。

老人福祉センターではお年寄りの皆さんとの交流が弾み、職員の方々も大変喜んでおられました。私を含め、参加者のみんながボランティアに対して満足感を得ることができたのではないかと思います。それと同時に、私は「ボランティアに対する思い」について考えてみました。

私たちの学校のほかに社会福祉普及校になっている学校や、ボランティア活動をしている人たちはたくさんいると思います。その人たちはボランティアについて、どう思っているのでしょうか。一人ひとりボランティアに対する考えは異なると思います。私はその中で、みんなに「思い



やり」を大切にしてほしいと思っています。それはいたわりや同情ではなく、心からの「思いやり」です。そうすれば本当のボランティアができるのではないのでしょうか。

体の不自由な人を見たり、接したりすると、違和感を持つ人がいると思いますが、この世の中に住んでいる、私たちと同じ「仲間」なのです。ボランティアをしたことのない人たちにも、このことを忘れてほしくありません。そして、ぜひボランティアを体験してみてください。きっと自分の世界が広がることでしょう。そして私自身も、これから福祉施設や老人ホームを訪問するという抽象的な考えだけではなく、もっともっと広い範囲での思いやりのあるボランティアをやっていくとともに、思いやりの心を持ち続ける人間でありたいと思っています。

ボランティアに参加しませんか

市内には幾つかのボランティアグループがあります。皆さんのボランティア活動のお手伝いをしてるのが白根市ボランティアセンターです。ボランティアの発掘やボランティア活動を希望する個人・グループの登録、ボランティア活動の紹介などを行い、ボランティア活動の活性化に取り組んでいます。

ボランティアセンターは、白根市社会福祉協議会(老人福祉センター内)にあります。ボランティアについてのお問い合わせは同センター(☎373・3096)へ

ボランティア紹介

- 活動内容 □対象者 □定例会日 □定例会開催場所 □代表者または事務局

ひばり会

□朗読 □ボランティア。広報しろねを朗読、カセットテープに録音し、対象者に配布 □どなたでも □毎月第3木曜日 □青年教育センター □小田秀子(東町・☎372・1415)

つばさ

□手話サークル。手話技術の修得、学習。ろうあ者に対する触れ合い活動 □どなたでも □毎週金曜日 □青年教育センター □堀口直人(曙町・☎372・1415)

しらすの会

□白根健生病院の来院者の案内。入院患者の課外活動、ガーゼ・包帯の整理など。デイ・サービスセンター、おたまじやくしの家などの施設ボランティア □白根保健生協組合員 □病院活動月2回(11日・月末)、デイ・サービスセンター毎週月・水曜日、おたまじやくしの家随時 □白根保健生協(白根健生病院内・☎372・2191)

六ツ星会

□点字の学習、実践活動 □高校生 □月1回 □老人福祉センター □金子ヨシノ(桜町・☎372・3291)

白根市レクリエーション協会

□老人運動会の企画・運営・実施など。お年寄りとのコミュニケーション活動など □どなたでも □体育レクリエーション課(カルチャーセンター内・☎373・6311)